

**報道資料 プレスリリース****呉市の3基幹病院と連携協定**

呉医療センター、呉共済病院、中国労災病院

**教育・臨床現場相互の研究協力進める。地域医療にも貢献**

広島国際大学大学院薬学研究科医療薬学専攻(学長:秋山實利、研究科長:宇根瑞穂)は6月26日、呉市の中核医療機関である、独立行政法人国立病院機構 呉医療センター(院長:上池渉)、国家公務員共済組合連合会 呉共済病院(病院長:小野哲也)、独立行政法人労働者健康福祉機構 中国労災病院(病院長:碓井亜)の3病院との間で連携協定を締結します。

これにより本学は、教育・臨床現場相互の人的交流を含めた研究協力体制を整え、先端医学と高度医療を支える薬学研究者、薬学教育指導者、ならびに高度な専門知識と研究能力を有する薬剤師研究者の育成をめざします。

**ジェネリック医薬品普及を促進する呉市に立地する3病院との連携**

呉市は、全国の市町村に先駆けて、ジェネリック医薬品の普及促進に取り組んでいます。こうした医薬品行政を積極的に推進している呉市にキャンパスを置く本学は、2004年度に薬学部を開設し、2012年4月には薬学研究の一層の推進をめざして大学院薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)を開設しました。今回、呉市内の基幹病院である呉医療センター、呉共済病院、中国労災病院と連携することにより、実務に精通した薬剤師研究者を養成するとともに、各医療機関に勤務する現役薬剤師に対しては専門薬剤師等の資格取得支援などを行っていく計画です。

**現役薬剤師と協働した臨地・教育研修プログラム。専門薬剤師等の育成支援も**

薬物療法の高度化、多様化が進む現在、高度な専門的知識や技能の修得に加え、新しい薬物療法の開発・研究能力を有する薬剤師研究者の育成が要請されています。本学では今後、3病院と連携し、現役薬剤師と協働して独自の臨地・教育研修プログラムを実施します。これにより希望する学生は、がん認定薬剤師、がん専門薬剤師、感染制御認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師、感染制御専門薬剤師、あるいは日本褥瘡学会認定師などの受験資格となる3ヶ月以上の研修を行うことができます。また、臨床現場において課題を探索しそれを研究対象とすることもできます。

この臨地・教育研修プログラムは、本学の大学院生と地域の病院に勤務する現役薬剤師が連携協働して薬物療法の改善に関する研究を行うもので、地域医療にも一定の貢献を果たすものと考えています。

※協定締結式は以下のとおりです。当日は3病院の院長および本学の学長・研究科長が協定の主旨および今後の取組についてご説明しますので、取材をいただければ幸いです。

◎ 日時：2012年6月26日(火) 11:00～

◎ 場所：広島国際大学 呉キャンパス1号館2階 会議室1・2

**■内容に関するお問い合わせ先**

広島国際大学 庶務課(沖川) TEL:0823-70-4503

**■取材の申し込み先・本件発信部署**

広島国際大学 企画課(末政) TEL:0823-70-4922